

リニア撤回を——静岡県委員会が声明を発表



記者会見する（右から）ひらが高成、もり大介、島津幸広、酒井政男の各氏

静岡県委員会は22日静岡県政記者クラブでリニア中央新幹線について「今からでも計画の撤回を。工事実施計画認可に抗議し、建設そのものについて国民的議論を求めます」とする声明を発表しました。

記者会見には島津幸広書記長、もり大介、ひらが高成両県議候補、酒井政男元県議・党政策委員、会リニア担当が参加しました。

生動植物生息地の環境破壊となる工事は「生態系の保全と持続可能な利活用の調和」を目的としたユネスコエコパークの精神に反する。※南アルプスの地下は日本列島を代表する断層地域で、トンネルの安全性を国もJRRも示せていない、※7ヶ所の残土捨て場は崩壊・土石流の危険このうえない場所にある、※工事により大井川の水が毎秒2ト減るのは、7市2町65万人にとって死活問題——などの問題点を指摘していま

もり候補は、「地元の井川町内会の人たちは、工事による危険、景観破壊などの不安を募らせている。合意どころか、まともな説明のないまま強行は許されない」と述べました。

ひらが候補は、「9兆円もの巨費を投じてまで建設する必要はない。東海道新幹線や在来線の南海トラフ巨大地震・津波対策こそ急務です」と語りました。

JR東海が静岡・岐阜・愛知15会場で事業説明会

月日	時間	場所
静岡県		
11月18日(火)	18:30	静岡県男女共同参画センター
岐阜県		
11月7日(金)	18:30	東美濃ふれあいセンター
11月11日(火)	19:00	恵那文化センター
11月13日(木)	18:30	御嵩町役場北庁舎
11月18日(火)	18:30	瑞浪市総合文化センター
11月19日(水)	18:30	土岐市文化プラザ
11月28日(金)	18:30	可児市総合会館
12月8日(月)	18:30	多治見市文化会館
愛知県		
10月27日(月)	18:30	ウィルあいち
11月3日(月)	14:00	中区役所ホール
11月7日(金)	18:00	北区役所講堂
11月8日(土)	14:00	中村区役所講堂
11月14日(金)	18:00	西区役所講堂
11月27日(木)	18:30	春日井市民会館
12月6日(土)	15:00	瀬古小学校

JR東海は、事業説明会の開催計画を公表しました。東海エリアでは静岡県1ヶ所、岐阜県7ヶ所、愛知県7ヶ所の15ヶ所。開催期間は10月27日(月)～12月8日(月)です。

環境影響評価法の手続きに際して、国土交通大臣意見書では「本事業を円滑に実施するためには、地元の理解と協力を得ることが不可欠」「事業説明会や工事説明会等の場を活用し、地域住民等に対し丁寧の説明すること」と強調していました。その点がどう実行されるか監視が必要になります。

また、JR東海は今回の市区町村での事業説明会後、「自治会などを対象とした事業説明会を開催する予定」とも表明しています。

リニア駅アクセス道路決定見送り

岐阜県都市計画審議会

岐阜県都市計画審議会が10月9日、岐阜県庁で開かれ、中津川市で計画されている濃飛横断自動車道の一部区間の決定を見送り、再審査することを決めました。リニア中央新幹線の岐阜県駅(仮称)と中央自動車道を結ぶアクセス道路ですが、住民の反対意見が多く、県の説明が不十分との指摘が、委員から相次いだためです。

再審査となった区間は、中津川市駒場から同市茄子川までの5・5キロ

で、県はリニア開業の2027年までに完成させる方針です。

都市計画審議会では、県が計画の概要を説明。7月に住民から集めた意見390件の集計結果も示し、賛成は4件だけで、残り386件は反対や計画の見直しを求める内容だったと明らかにしました。

この結果について、委員から「これ

だけ反対があるのに、いきなり採決するのは急だ」などと指摘があり、予定されていた採決が見送られたものです。

岐阜県都市政策課は、次の審議会(12月)に向けて、24人の委員全員へ説明をやり直し、計画決定の採決を行うとしています。

(「中日」岐阜 10月10日)